

報告

北海道医師会創立61周年 記念行事を開催！

去る11月9日(日)札幌グランドホテルを会場に「北海道医師会創立61周年記念行事」を開催しました。

記念講演は、単独で7大陸の最高峰を登ることを目標とし、10月12日にはマナスル登頂に成功。さらに来春、日本人初のエベレスト単独無酸素登頂を目指す

若きソロ・アルピニストの栗城史多^{くりきのぶかず}氏をお招きし『死の地帯を越えて—人間には無限の可能性がある—』と題し、夢を信じあきらめないことを自ら体現し、夢を持つことの大切さを伝えたいとの大変興味深いお話をご講演いただきました。

記念式典では、118名(会員35名、開業病院・開業診療所従業員70名、国公立等医療機関従業員11名、医師会職員2名)の被表彰者の方々のご出席をいただきました。

また、日本医師会・唐澤祥人会長、北海道知事代理・佐藤俊夫副知事(代読)より心温まるご祝辞を頂戴し、盛大に開催することができました。

記念祝賀会にも多くの方々のご参加をいただき、唐澤日医会長をはじめ、高橋はるみ知事、西島英利参議院議員など多くのご来賓の方々より丁寧なるスピーチを頂戴するなど、大変和やかな雰囲気の中で進行することができました。

来年の創立62周年記念行事開催の折には本年同様、皆様方のご支援、ご協力の程をお願いするとともに、多くの会員のご参加をお待ちしております。

—総務部—



講演する栗城史多氏



講演風景



会場風景



受賞者代表城守先生(左)